

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 基準日 定時株主総会 3月31日  
剰余金の配当 期末3月31日  
中間9月30日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
(〒541-8502)  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
大阪証券代行部  
電話 0120-094-777(通話料無料)
- 公告方法 電子公告により行う  
公告掲載URL <https://www.dnt.co.jp/>  
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
- 単元株式数 100株
- 上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場  
(証券コード4611)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。  
なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



**株主の皆様の  
声をお聞かせください**

**コエキク**

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

回答期間 2023年11月30日～12月31日

---

下記URLにアクセスいただき、  
アクセスキー入力後に表示される  
アンケートサイトにて  
ご回答ください。

**<https://koekiku.jp>**

アクセスキー 46119658

スマートフォンから  
カメラ機能で  
QRコードを読み取り  
↓  
  
QRコードは株式会社デンソーウェーブ  
の登録商標です。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。  
<https://www.pronexus.co.jp/>

アンケートのお問い合わせ  
「コエキク事務局」  
✉ [koekiku@pronexus.co.jp](mailto:koekiku@pronexus.co.jp)

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



# 第141期中間報告書

2023年4月1日から2023年9月30日まで

**大日本塗料株式会社**



代表取締役社長 里 隆幸

経営理念

当社は、新しい価値の創造を通じて地球環境や資源を護り、広く社会の繁栄と豊かな暮らしの実現に貢献できる企業を目指します。

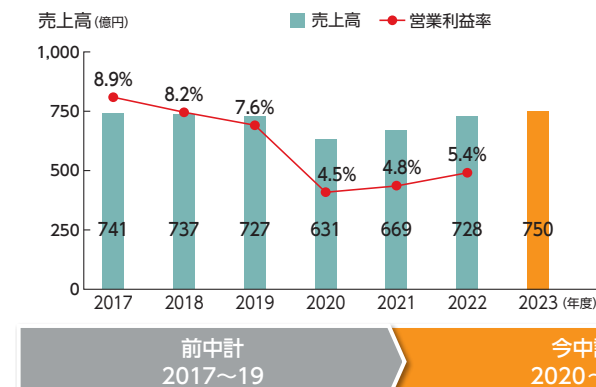
代表取締役社長の里 隆幸でございます。株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社の連結子会社が製造するJIS製品において社内で定めた検査規格に係る検査値の改ざん等の不適切行為が判明いたしました。関係者の皆様には多大なるご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。また、当社は、2023年10月26日付で、一般財団法人日本塗料検査協会より、JISマーク表示の一時停止の通知を受けましたので、あわせてお知らせいたしますとともに、今回の事態を重大なものとして受け止め、全力を挙げて信頼回復に向けて取り組んでまいります。

Q 2023年度上半期の業績をお聞かせください。

A 当上半期の当社を取り巻く事業環境は、行動制限が解除されたことによる個人消費やインバウンド消費の回復等により、緩やかな景気回復基調となりました。一方で、世界的な金融引き締めやエネルギー価格の高騰、ロシア・ウクライナ情勢の長期化等の影響により、依然として先行き不透明な状況が続いています。このような状況の中、当社グループの上半期の連結業績は、照明機器事業の好調な推移により、売上高363億7千1百万円(前年同四半期比4.3%増)となりました。利益面では、国内塗料事業及び照明機器事業による価

● 創立100周年に向けた今中期経営計画の基本方針



**中計目標**  
2023年度  
売上高 750億円  
営業利益 66億円  
連結営業利益率 8.8%

創立100周年に向けて  
**持続的成長力**  
を持つ企業を目指す

成長基盤を活用した“変革の断行”

提供価値の強化	価格競争力の強化	販売体制の強化	労働生産性の向上	海外事業の強化
---------	----------	---------	----------	---------

前中計 2017~19 | 今中計 2020~23 | 創立100周年に向けた成長戦略 | 2029年7月 創立100周年

格是正の浸透により利益率が改善し、営業利益は27億1千5百万円(同53.1%増)、経常利益は29億6千1百万円(同45.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億5千6百万円(同47.8%増)となりました。

Q 今後の取り組みについて教えてください。

A 当社グループでは、現中期経営計画(2020年度~2023年度)において、「提供価値の強化」、「価格競争力の強化」、「販売体制の強化」、「労働生産性の向上」、「海外事業の強化」の5つの重点施策に取り組んでおり、当期は中期経営計画の最終年度となります。これら重点施

策を着実に実行し、業績目標の達成に向けてグループ一丸となって取り組んでまいります。

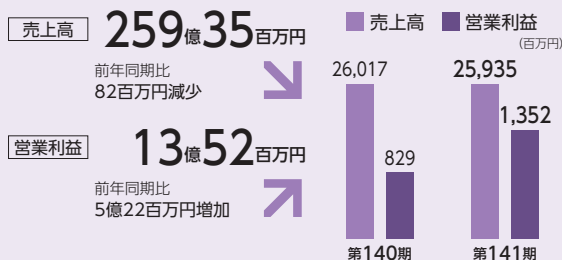
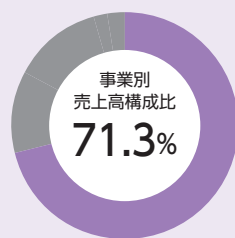
また、2024年度からスタートする次期中期経営計画(2024年度~2026年度)では、サステナビリティの視点を踏まえたマテリアリティの再定義と事業ポートフォリオの見直し、創立100周年を迎える2029年度とその先を見据えた当社としてのあるべき姿の具体化に向けて検討しています。

これらの取り組みを通して当社グループにおける持続的な成長と中長期的な企業価値向上に向けて邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年11月

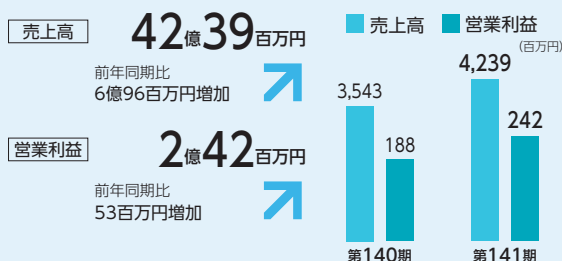
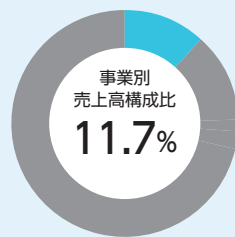
### 国内塗料事業



【事業概要】当社が高いシェアを誇る構造物用塗料を中心に、建築物用塗料や建材用塗料、ジェットインクなどを製造・販売しています。

- 一般用分野は、市況が本格的な回復には至らなかったものの、前期に実施した価格正や高付加価値商品の拡販により、売上高は前年同期を上回りました。
- 工業用分野は、新設住宅着工件数の減少により建材用塗料の需要が大きく減少した一方で、一部市況の回復や価格正により売上高は前年同期を上回りました。
- 当セグメントの売上高は、当期初に実施した粉体製造子会社の合併解消に伴う売上高の減少約16億円により前年同期を下回りましたが、利益面への影響は僅少であり営業利益は前年同期を大きく上回りました。

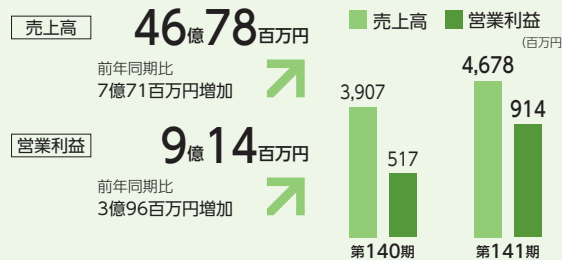
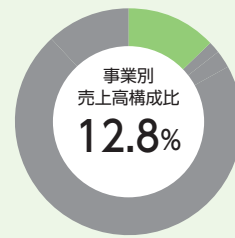
### 海外塗料事業



【事業概要】東南アジア、中国のほか、メキシコに拠点をもち、自動車部品用やプラスチック製品用の工業用塗料を中心に製造・販売しています。

- 東南アジア地域は、タイ及びインドネシアでは自動車関連部品用塗料の需要が回復し、シンガポール及びマレーシアでは外装建材用塗料の需要が増加したことで、売上高は前年同期を上回りました。
- メキシコは、自動車生産台数の回復により需要が増加し、売上高は前年同期を上回りました。
- 中国は、日系自動車メーカーの減産影響により販売は低迷しましたが、前年同期はロックダウンの影響による著しい需要減少があったため、売上高は前年同期を上回りました。
- 当セグメントとしては、需要の回復基調に加え、円安の為替換算の影響により、売上高及び営業利益は前年同期を上回りました。

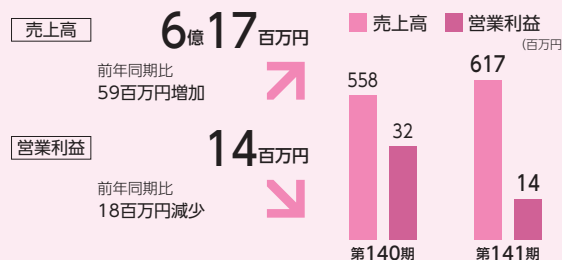
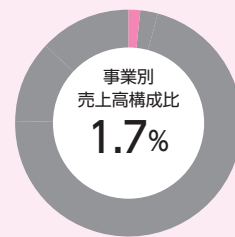
### 照明機器事業



【事業概要】建築化照明や店舗照明、住宅用照明などの照明機器を製造・販売しているほか、紫外線除菌装置なども展開しています。

- 業務用LED照明分野は、インバウンドの回復や首都圏再開発等を背景に商業施設向けや建築向けを中心に前期に引き続き需要が増加しました。
- UVランプ分野は、主に半導体関連市場向けに紫外線殺菌用途の需要が増加しました。
- 価格正の進展により、当セグメントの売上高及び営業利益は前年同期を上回りました。

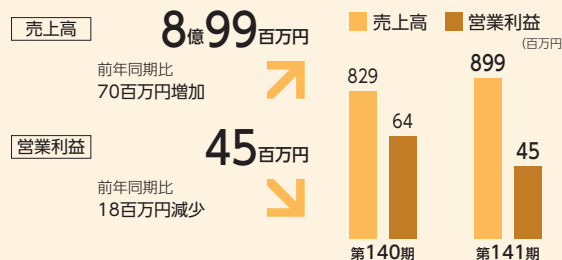
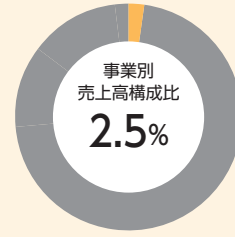
### 蛍光色材事業



【事業概要】蛍光塗料や反射塗料などを製造・販売しており、近年では河川の水位表示など、防災対策用として需要が拡大しています。

- 顔料分野は、EU地域の経済状況の低迷やファッション業界・文具業界での流行色の変化により需要が減少しましたが、加工品分野ではフィルム製品や蛍光関連部材の需要が増加し、当セグメントの売上高は前年同期を上回りました。
- 営業利益は顔料分野の売上減少及び各種コストの増加により、前年同期を下回りました。

### その他事業(物流・塗装工事)



【事業概要】危険物・非危険物の保管・運送や、重防食塗装を軸とした施工及び施工管理業務を担っています。

- 物流事業は、取扱量の減少により運送売上及び保管売上が前年同期を下回りました。
- 塗装工事事業は、市況が緩やかに回復し売上高は前年同期を上回りました。

## 虎ノ門ヒルズ ステーションタワーに 当社塗料が採用されました。

本年10月6日に開業した東京都港区の超高層タワー『虎ノ門ヒルズ ステーションタワー』に当社塗料が採用されました。

本タワーは東京メトロ「虎ノ門ヒルズ」駅と直結した地上49階、高さ266mの複合施設であり、オフィスやホテル、レストランなど様々な施設を備え、周辺エリア全体のアクセス性の向上と街の賑わい創出に貢献しています。

本タワーの外装には、当社の粉体塗料「パウダーフロンSELA」が全面的に採用されました。

本塗料は、耐候性に優れたふっ素樹脂と、金属面との密着性が高く、曲げなどの加工に強いポリエステルハイブリッド構造が特長であり、VOC（揮発性有機化合物）の削減と長期耐久性を併せ持つ製品です。

「虎ノ門ヒルズ」は本タワーのほか、森タワー、ビジネスタワー、レジデンシャルタワーの計4棟で構成されており、いずれも外装に当社の塗料が採用されています。

今後も当社は本実績を武器に更なる物件獲得に努めるとともに、塗料を通じて環境負荷の低減に貢献してまいります。



虎ノ門ヒルズ ステーションタワー外観

© The Boundary



左から、ビジネスタワー、森タワー、レジデンシャルタワー、  
ステーションタワー

## Topics

トピックス

## 「統合報告書2023」を発行しました。

当社は、本年9月に「統合報告書2023」を発行しました。

統合報告書は、投資家をはじめとするステークホルダーに対して、当社グループの中長期的な企業価値向上に繋がる取り組みをご理解いただくことを目的に、2019年より毎年発行しています。

### 「統合報告書2023」の主な記載内容

- トップメッセージ
- 価値創造プロセス
- 経営戦略
- サステナビリティに向けた取り組み
- 環境・社会・ガバナンス (ESG) の取り組み・関わり
- 業績・会社概要

### ◎今号で新たに充実させた情報

- 管理本部長メッセージの掲載
- 気候変動に対する取り組み  
(CO<sub>2</sub>排出量 Scope1,2,3の開示と分析)
- 水資源の利用に関する項目
- 社外取締役メッセージ(座談会)の掲載
- 11ヵ年財務・非財務情報の開示



経営戦略やサステナビリティに向けた取り組み、コーポレート・ガバナンスへの対応など、当社グループについて、より詳しくご理解いただける内容になっています。ぜひご覧ください。

「統合報告書2023」は、  
当社HPからご覧いただけます。

トップページ>投資家情報>IRライブラリ>統合報告書



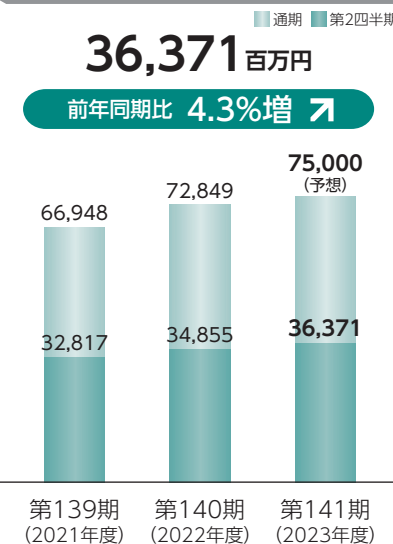
### 【表紙について】

表紙デザインは、株主優待のQUOカードデザインと同様に、障がい者アートを応援する「パラリンアート」の作品を使用しています。

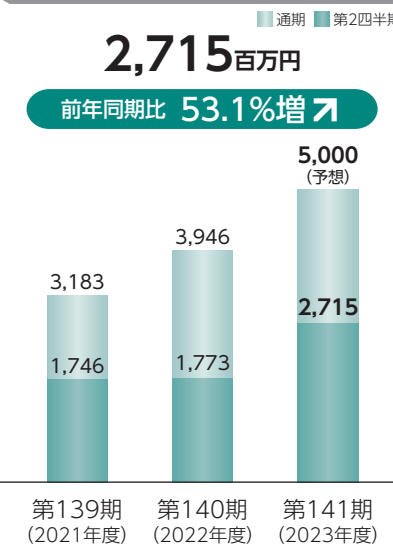


今後も、積極的な情報開示や株主の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様との対話を大切にしながら、事業活動を通じて、企業価値の向上に努めてまいります。

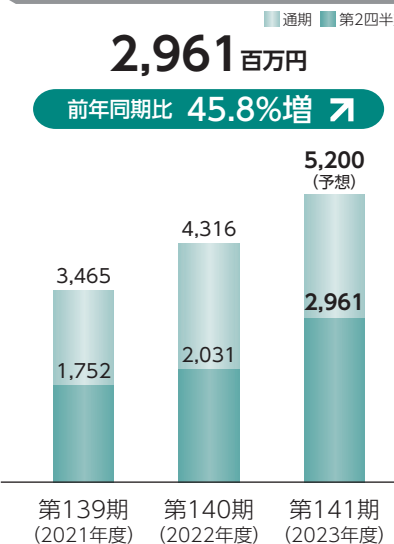
売上高 (百万円)



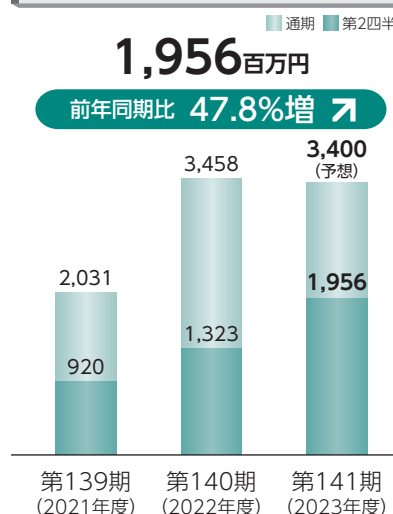
営業利益 (百万円)



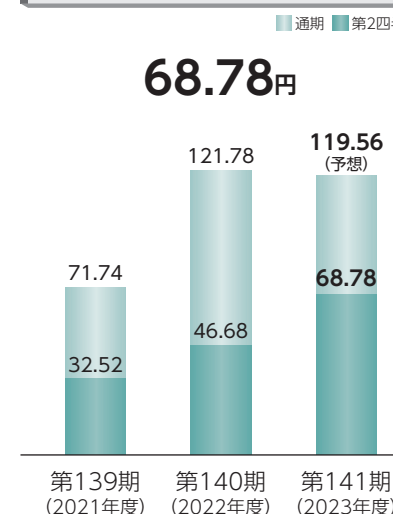
経常利益 (百万円)



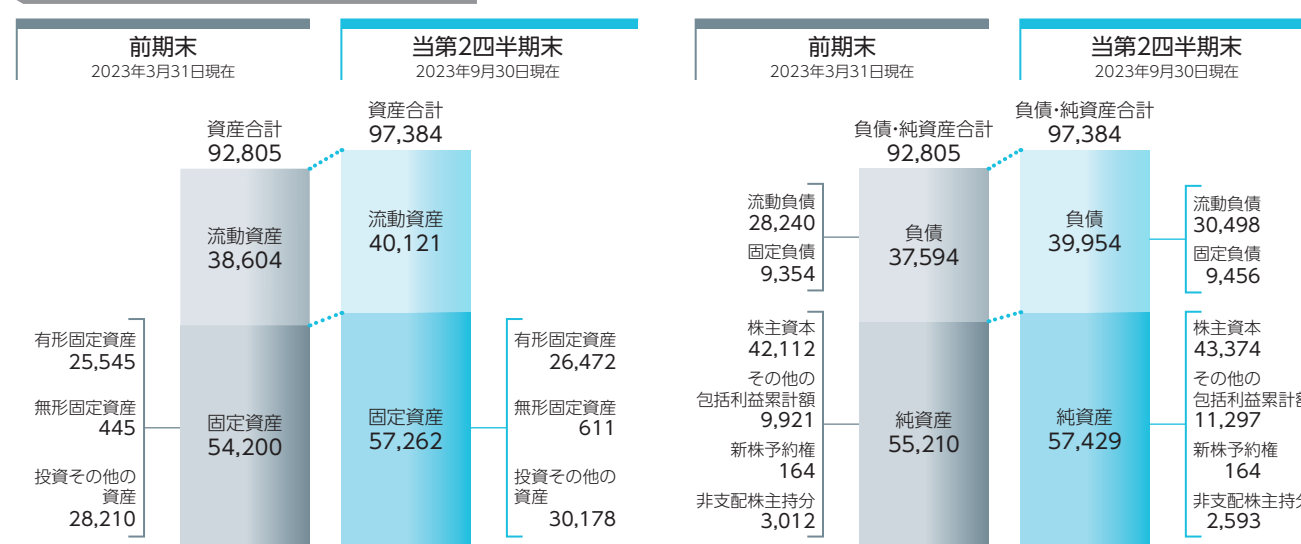
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)



1株当たり四半期純利益 (円)

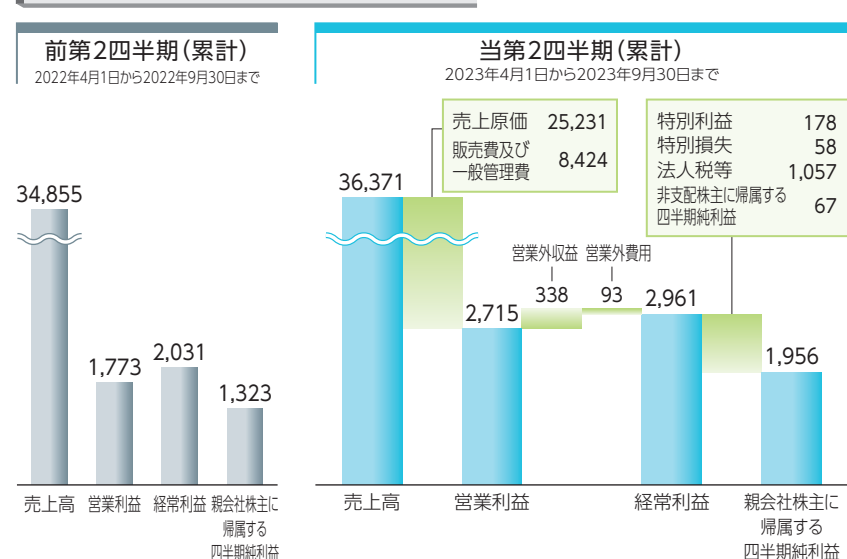


四半期連結貸借対照表(要旨) (百万円)

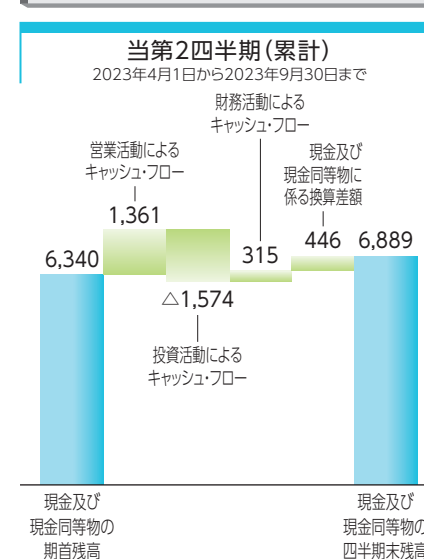


(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書(要旨) (百万円)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (百万円)



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

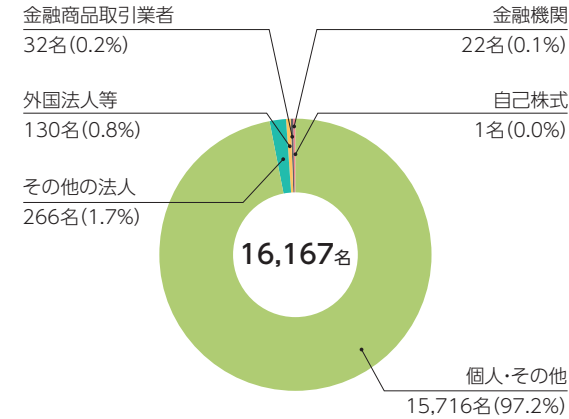
発行可能株式総数 ..... 93,280,000株  
 発行済株式の総数 ..... 29,710,678株  
 株主数 ..... 16,167名

●大株主(上位10名)

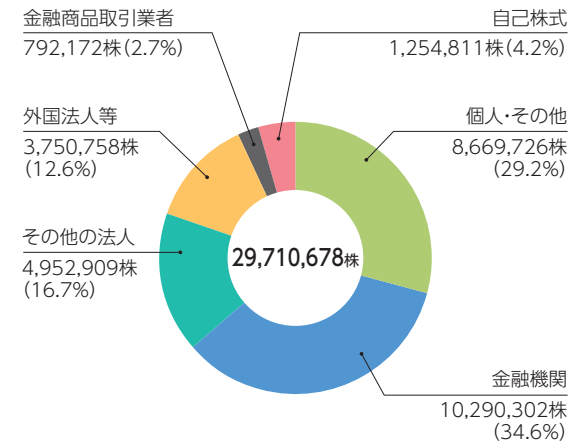
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,996	10.5
DNT取引関係持株会	1,425	5.0
明治安田生命保険相互会社	1,400	4.9
株式会社三菱UFJ銀行	1,228	4.3
ダイニッカ株式会社	1,215	4.2
東京海上日動火災保険株式会社	1,013	3.5
富国生命保険相互会社	1,000	3.5
株式会社島津製作所	1,000	3.5
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	891	3.1
田邊康秀	829	2.9

(注1) 自己株式(1,254,811株)を除いて記載しております。  
 (注2) 持株比率は自己株式(1,254,811株)を控除して計算しております。

●所有者別株主分布状況



●所有者別株式分布状況



●主な事業所／子会社及び関連会社

●大日本塗料株式会社

本社(大阪)、東京営業本部(東京)  
 那須事業所(栃木)、小牧事業所(愛知)  
 東京、名古屋、大阪 他14営業所

●子会社及び関連会社

国内塗料:

大日本塗料北海道(北海道)  
 日塗化学(株)(東京)、千葉化工(株)(千葉)  
 ジャパンパウダー塗料製造(株)(愛知)  
 日東三和塗料(株)(滋賀)  
 サンデーペイント(株)(大阪)  
 DNTサービス(株)(大阪)、岡山化工(株)(岡山)  
 DNT山陽ケミカル(株)(広島)  
 (株)宇部塗料商会(山口)

照明機器:

DNライティング(株)(神奈川)  
 秋田DNライティング(株)(秋田)

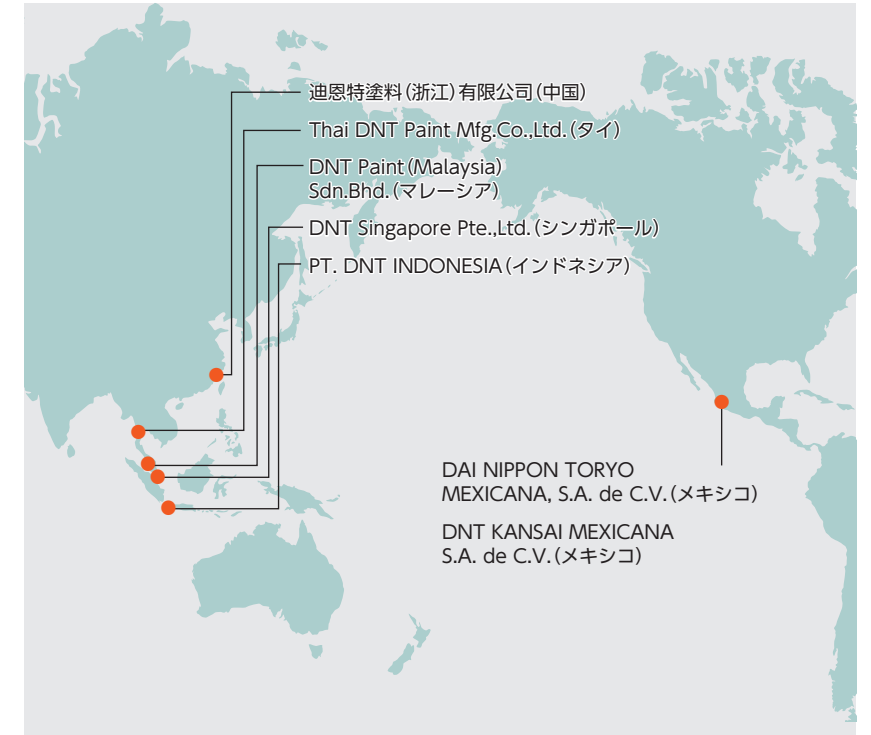
蛍光色材:

シンロイヒ(株)(神奈川)

その他:

日塗エンジニアリング(株)(神奈川)  
 ニットサービス(株)(大阪)

海外塗料:



●会社概要

商号	大日本塗料株式会社 Dai Nippon Toryo Company, Limited
本社	〒542-0081 大阪市中央区南船場1-18-11
設立	1929年(昭和4年)7月25日
資本金	8,827百万円
従業員数	2,120名(単体:678名)
主要な事業内容	塗料・ジェットインクの製造、販売 各種塗装機器装置の販売、塗装工事等

●役員

代表取締役社長	里 隆 幸	取締役(社外取締役)	林 紀美代
取締役常務執行役員	永 野 達 彦	取締役(社外取締役)	佐 藤 弘 志
取締役執行役員	野 田 秀 吉	取締役(社外取締役)	馬 場 浩 司
取締役執行役員	山 本 基 弘	常勤監査役(社外監査役)	杉 浦 秀 樹
取締役執行役員	中 谷 昌 幸	常勤監査役	木 村 直 之
取締役執行役員	三 宅 章 弘	監査役(社外監査役)	藤 井 浩 之